

今回のテーマ

保険証券管理表



前回、経営者が加入している法人契約と個人契約について概要を紹介いたしましたが、今回はより具体的に現在加入している保険契約の整理方法として「保険証券管理表」の作成を紹介いたします。

保険証券管理表のイメージ

契約形態	No.	保険会社	加入年齢	保障内容					保険料			
				保険種類	保険期間	払込期間	普通死亡	災害・傷害	入院	払方	保険料	年間
個人	①	A生命	〇〇歳	終身保険	終身	70歳	3,000			月	86,000	1,032,000
	②	B生命	〇〇歳	定期付終身保険	65歳/終身	65歳	3,000	1,000	5千/日	月	23,000	276,000
	③	C生命	〇〇歳	定期付終身保険	70歳/終身	70歳	5,000	2,000	1万/日	月	45,000	540,000
個人合計							11,000	3,000	1万5千/日		年間保険料	1,848,000
法人	①	A生命	〇〇歳	定期付終身保険	70歳/終身	70歳	10,000	2,000	1万/日	年	81,000	81,000
	②	A生命	〇〇歳	定期付終身保険	10年/終身	70歳	300		5千/日	月	18,000	216,000
	③	D生命	〇〇歳	定期保険	70歳	70歳	5,000			月	25,000	300,000
法人合計							15,300	2,000	1万5千/日		年間保険料	597,000
総合計							26,300	5,000	3万/日		年間保険料	2,445,000

保険証券管理表のメリット

- ①どこの保険会社に何を請求するかが明確になりますので請求漏れを防げます。
- ②保障に関するダブリや漏れを防げますので、無駄な保険料支出や保障不足が発生しません。
- ③資金使途が発生した際にどの保険を解約して、資金を捻出することがベストか等、保険を財産とした分析がし易くなりますので、経営判断のスピードアップが図れます。
- ④法人契約・個人契約の内容が一覧表で確認できるので、全体のバランスや見直しのタイミング、いくら保険料を支払っているのか等、加入している契約の全てが一目瞭然となります。

今回は、加入している保険契約の整理方法として「保険証券管理表」の作成を紹介いたしました。保険は一つの契約でさえ分かりにくいものです。それが複数の契約でしかも複数の会社から法人・個人に両方で加入していれば余計に分からなくなってしまいます。ぜひ実際にご自身が加入している保険の「保険証券管理表」を作成してみましょう。

具体的なお相談に応じますので、お気軽に声をかけてみてください。



担当 齊藤 直哉